

# 子どもたちに、街に、彩りと潤いを――。 花とみどりが創り出す 穏やかな微笑みと人の絆

## きれいな学校の花壇を 子どもたちに見せたくて 笑顔咲く仲良し花壇

今年で創立50周年を迎えた鶴谷東小学校。最も多い時には1600人以上いた児童も、現在は180人ほどになりました。児童も、「花壇はあるのですがなかなか手が回らず荒れてきて、草を取ってしまったりは固いし、植えても枯れてしまったり」と話す加藤真理校長。児童数の減少により、施設や設備の維持管理が厳しくなってきた。

そうした状況下で昨年赴任してきたのが、聖石洋子先生。花壇が荒れているのが気になる。授業の合間を見ては草取りに精を出しました。その様子を見ていた児童たちも、草取りをお手伝い、「子どもたち、花壇というのはいきれいなんだよ」というのを見せたかったんです。こう話してくれた聖石先生は、草を取った後の花壇に、今年も3月のまわりを植えて、咲いた時には1年生の児童たちが「お花が笑っている」と喜んでくれたとか。

そうした状況下で昨年赴任してきたのが、聖石洋子先生。花壇が荒れているのが気になる。授業の合間を見ては草取りに精を出しました。その様子を見ていた児童たちも、草取りをお手伝い、「子どもたち、花壇というのはいきれいなんだよ」というのを見せたかったんです。こう話してくれた聖石先生は、草を取った後の花壇に、今年も3月のまわりを植えて、咲いた時には1年生の児童たちが「お花が笑っている」と喜んでくれたとか。



聖石先生、子どもたちと咲き誇る花壇を見せたいと、花壇づくり支援に応募しました。



聖石先生、子どもたちと咲き誇る花壇を見せたいと、花壇づくり支援に応募しました。

## 子どもたちが作業しやすい ローメンテナンスな花壇に

花壇づくりが行われたのは、小春日和の11月2日。もともと土が固過ぎるため、レンガを縦にして花壇の外枠にし、その中に先生方が柔らかい土を盛っていき、先ず、校長先生もスコップを手に率先して参加。入れた土を均等にしたら、後で花壇内にもレンガを置いていきます。

「雑草が取りやすい、ローメンテナンスな花壇にすることが大切。そのためには土を踏まないで、手が届く範囲で作業できるように、足場になるレンガを置きます。花壇の設計を担当した鎌田さんによれば、レンガはリサイクルでき、後でデザインも変えられるので、花壇作りにも適しているとのこと。

図面をもとにムスリやチェーンソーの球根、ポットに入ったピオラを植える場所に配置。校舍に近い場所には、宿根草のサルビア、アキクィンギア、ギボウシなどを置いて準備完了です。

実際に花や球根を植えるのは2年生の児童たち。鎌田さんから植え方を教えてもらい、それぞれ



「これから私たちが植えます」。その前にピオラを手にとって、はいポーズ

それが移植用シャベルを手に、球根やピオラを植えていきます。「土に触ったとはあるけど、花を植えたことはなかったのだから、楽しかった」と話す宮元聖生さん。おおいさん、高橋美穂さん、たかはしみなさん、はらみこさん、高橋美穂さん、たかはしみなさん、はらみこさんが咲くのが楽しみと話してくれました。



花を植えるのは初めての宮元聖生さん。「植えるのが楽しかった」と話してくれました。



「シャベルで植えるのが楽しかった」と語る高橋美穂さん。チェーンアップが楽しく心持ちです。



ピオラと球根を植えた後は、2年生の児童全員と担任の先生、聖石先生と交えて記念撮影

## 散歩好き、花好きが集まり 国際センター駅前には花壇を

健康づくりの環として親まれていく散歩。仙台市内で早期の散歩を楽しむ人たちが集まる場所の一つに、仙台城跡があります。また晴れやかなるに自宅を出て、仙台城跡で朝日を仰ぎ、その行き帰りにゴミを拾ったり、雪道のときは融雪剤をまいて話をするように、自主的に集まる団体として活動するようになりました。

「基本的には散歩しながらボランティア活動するということが、散歩ボランティアという名前になりました。散歩ボランティアが好きで、花が好きで、誰かのお役に立ちたいという人々の集まりです。この話すのは代表を務める松田照夫さん。メンバーは自然に増えて現在は16人。仙台城跡からの散歩帰りに、歩道に覆いかぶさる雑草を刈っていたところ、地下鉄国際センター駅の北側前が雑草だらけの気がつきました。もともとは学生だったものが、ヨモギやセイタイアカアザチ、アザチなどが生えて目に余る状態だったとのこと。



サンボランティア代表の松田照夫さん。皆さんが自主的に活動しているとのこと。

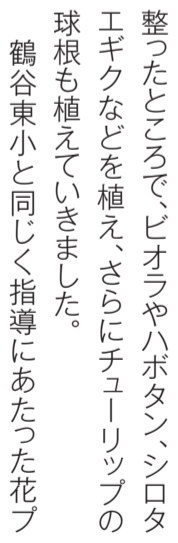
そこで集まったメンバーと手入れをし始め、今年4月からは仙台市交通局の許可を得て、雑草の根を掘り起こして撤去。メンバーが土を持ってきて入れたら、自宅にあった花や苗木を持参したりして、駅東端から花壇としての体裁を整えていく。持ち寄った植物は、宿根草やハーブなど150種類ほどに及びます。



サンボランティアのメンバーは、皆さんが花好きということもあって、楽しそうに作業していました。整備した花壇は、継続的に手入れしていく予定です。

## 乗降客の目を惹きつけて 雑草を取り除き、花を植え

青葉区平井に住む江戸たか子さん。散歩歴はおよそ40年で、仙台城跡に行くようになったのはこの15年ほど。「雑草を刈って先を見ていたけど、なんとか手伝えたら、最初は雑草取りから始まり、だんだん花を植えるようになっていきました。江戸さんは、最初は雑草取りから始まり、だんだん花を植えるようになっていきました。江戸さんは、最初は雑草取りから始まり、だんだん花を植えるようになっていきました。



江戸たか子さん。仙台城跡の前は、遊歩道をまわって西公園の辺りから散歩コースでした。



新しく入れた土も、レーキなどを使ってならしていきます。何をすれば、各自が考え各自の判断で。



2022 あしたのみどり キャンペーン

# たくさんの投稿ありがとう! わたしの好きな 「みどりのある風景」

あしたのみどりキャンペーンは、特設サイトにおいて、宮城県内の「わたしの好きなみどりのある風景」を募集。その結果2,055点もの写真をお寄せいただきました。たくさんの投稿ありがとうございました。今回のファイナル特集では、その中から一部を紹介します。各写真の紹介文は新聞記事に合わせ、一部を修正している場合があります。



次頁もご覧ください

うまくて、おいしい。みやぎ米

「みやぎ米」メッセジャー サンドウィッチマン

ひとめぼれ 宮城を代表する主力銘柄  
ササニシキ 和食との相性抜群  
だて正夢 もちもち食感の新銘柄  
つや姫 艶があって粒ぞろい

宮城米 及び キャンペーンについて詳しくは  
https://m-hozenmai.jp/ うまさにはちず みやぎ米 検索

JAグループ宮城